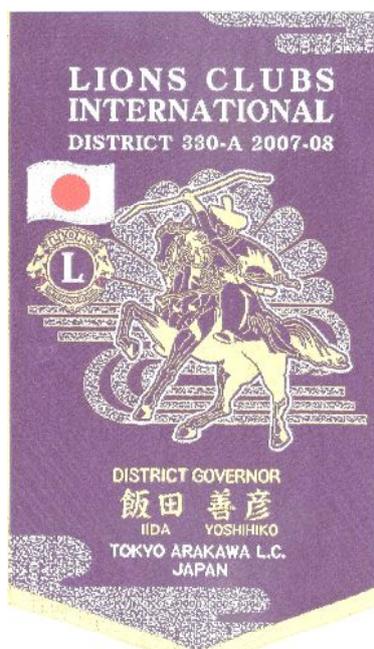


<2007—2008年度>

第3回

キャビネット会議

提出案件および委員長報告書



2008年3月17日（月）

京王プラザホテル八王子 「宴」

ライオンズクラブ国際協会

330-A地区

第3回キャビネット会議提出案件（審議決議事項）

委員会名 政策・会則・長期計画委員会

委員長 L 野崎 武

当委員会は、地区ガバナー飯田善彦Lより今期発行の必携第47版に基づき、運営するとの基本方針を受け、必携の必要性と改定の周知徹底をはかりさらに愛の泉基金の規定の整備並びにキャビネットと有限責任中間法人330-A地区支援会との諸約定の整備を諮問され、以下の通り提出案件として提案する。

記

案件1 中間法人330-A地区支援会の預託金返還請求の処理について（決議事項）

（提案）愛の泉緊急災害援助資金から支援会に対し、預託金返還資金として預託する。

（理由）支援会は、330-A地区キャビネット事務局の賃料を軽減するために、ライオンズクラブ及び、クラブ会員の預託金をもって、事務局建物を購入するために設立されたものであるが、その目的のため及び、賃料に税金がかからないように、事務局の賃料を低く押さえたものである。ところが、会員の退会並びに、高齢化による死亡等のため、預託金の返還請求が増え、現在預託金返還ができない状況となっている。この預託金返還不能の状態を抜本的に解決するには、賃料を増額するか、事務局の建物を売却する等しなければならない。賃料の増額については、当初の設立目的に反する上、税金等の問題もあり、合意を得ることは当面困難である。建物の売却についても、購入資金を拠出したライオンズクラブや会員の合意を得るには時間もかかり、当面困難である。さらに、各クラブの会員が毎年1

00円ずつキャビネットに拠出して、キャビネットは、その金でクラブ会員と各クラブの預託金を返還して、事務局の建物をキャビネットの所有とする（330-A地区を中間法人とすることも可能）ことも考えられる。しかし、（預託金返還請求は、増加し、何時までも放置するわけにはいかない）、緊急措置として、再び「愛の泉緊急災害援助資金」を利用せざるを得ないとする。そこで、キャビネットと支援会が事務局の建物の売却を含め、抜本的解決策を検討することを条件に「愛の泉緊急災害援助資金」から、預託金返還の資金を支援会に新たに預託することを提案する。

案件2 ガバナー諮問委員会の開催方法と諮問委員会構成員について（決議事項）

第47版ライオンズ必携複合地区会則第22条の1及び2を遵守するよう、第1回キャビネット会議において提案し議決されているが、まだ履行されていないゾーンが見受けられるので、再度提出案件とする。

（理由） ガバナー諮問委員会の開催方法は、必携（47版）第22条の2により、キャビネット会議開催後、速やかに開催する。また、第22条の1において、その諮問委員会構成員は、そのゾーン内のゾーンチェアパーソン、会長及び幹事となっているが、今だに、複合地区委員及び、地区キャビネット委員及び、ゾーン内各クラブ五役まで構成員として開催されているところもある。また、国際会則のライオンズクラブの運営についての条文（24頁）の中で、ゾーン幹事（総務）は設置できないとあるが、今だに守られていないゾーンも見受けられる。

案件3 第2回キャビネット会議で継続審議となった「330-A地区 愛の泉緊急災害援助資金規則の改正について」の案件は、上記1の提案のごとく、330-A地区支援会に対する資金預託の問題が発生したので、同規則改正をする。(決議事項)

(理由) 330-A地区愛の泉緊急災害援助資金規則の改正について

1. 規則の表題の「愛の泉」を削除し、第1条も同様に改正する。
2. 第3条（資金の運用）を次のように改正する。
 - ① 地区ガバナーが緊急災害度合を判断し運用することのほか、この資金の運用が330-A地区に特に必要と認めた場合には、地区キャビネット会議に諮り、愛の泉資金を使用することが出来る。
 - ② 本資金の支出対象である緊急災害は、330複合地区内の緊急災害とする。
 - ③ 特に緊急性を要する緊急災害アクティビティについては、地区ガバナーは、金200万円までガバナー決済で支出することができる。金200万円を越える場合は、地区キャビネット会議の決裁を必要とする。
 - ④ 地区内において、緊急災害援助用募金を実施した場合は、その募金から本資金より支出された金額相当額を組み入れることとする。
3. 附則に次の事項を追加する。

2008年 月 日 本規則表題、第1条、第3条を改正

案件4 中間法人330-A地区支援会の民主的運営について（決議事項）

（提案）①3名の拠出社員の議決権を非拠出社員と同じく各1個とする。

②代表理事は理事会で選出することにする。

以上、①②のとおり支援会の定款を改正するよう求める。

（理由）支援会の定款によれば、社員総会で重要事項は決議される。当初、社員は12名（14条）、その後の社員は社員総会の承認がなければ社員になれない（10条）。さらに、3名の拠出社員が60個の議決権を有し、他の9人の社員は9個の議決権しか有せず（20条）、3名の社員が常に過半数の議決権を有し、議事を議決できるようになっている（19条2項）

ところが、3名の拠出金はキャビネットの金であり、キャビネット会計では出資金とされており、本来3名は、キャビネットのロボットに過ぎないのである。ところが、3名は支援会に対し、社員の権利を主張しないという確約書を差し入れている。しかし、3名が、社員総会において議決権を行使しないと議決は成立しない。この確約書は、3名は支援会理事会の意向どおりに行動するという趣旨に理解せざるを得ない。3名の拠出金は、キャビネットの金であるから、3名は、キャビネットに対して、キャビネットの意向どおりに行動するという確約書を入れるべきであったのである。社員については、社員が固定されていることが、常にキャビネット及び、預託金拠出クラブや会員の意向に沿った運営をすることの阻害になるおそれがある。

次に、理事、代表理事の選出であるが、理事は、社員総会で社員の中から選任する。但し、社員外からも選任する（24条）。代表理事は、社員総会におい

て理事の中から選任する（26条）。ところが、「ライオンズクラブ国際協会330-A地区と有限責任中間法人330-A地区支援会間の人的・物的連携に関する規定」でもって、支援会の理事は330-A地区の現・前地区ガバナー・幹事・会計・事務局長・委員長のうちから、現地区ガバナーが推薦した者が就任する（2条）。支援会の代表理事は、330-A地区の前ガバナーが就任するとされている（3条）。さらに、支援会の運営上の事項を協議するため、キャビネットに運営協議委員会を設置する（6条）とされている。この規定では、キャビネットの意向が尊重されている。しかし、支援会の定款では、理事は社員の中から社員総会で選任し、社員になるには社員総会の承認が必要であり、定款と規定の整合性が計られていない。その時々々の現・前ガバナーや幹事等を社員にならずに理事にすると、社員と理事が分離してしまうおそれがあり、社員と理事の分離を防ぐには、社員の入替えをしなければならない。また、代表理事を前地区ガバナーと特定しているが、この定めは柔軟性に欠け、運用に支障を生ずるおそれがあるので、代表理事は理事会で選任するようにすべきである。ただ、この規定の改正は、附則でもって、330-A地区代議員総会の決議によるとされているので、年次総会前に改正することをキャビネット会議で決議し、代議員総会に発議する必要がある。

もつとも、この規定はキャビネットと支援会の協定であるから、この協定に反して、支援会の定款どおりに、社員総会で理事の中から代表理事を選任すれば、代表理事の資格は有することになる。

案件 5 次期政策会則長期計画委員会において、次期リジョンチェアパーソン及び、次期ゾーンチェアパーソンに対するライオンズ必携に基づく指導のための会合を開催すること。(報告事項)

(理由) ガバナー諮問委員会の開催については、上記提案3のような問題も存するし、リジョンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソンの役割の周知徹底を計るため。

第3回キャビネット会議 委員長報告書

委員会名 指導力育成委員会

委員長 上吉澤 隆志

報告事項（又は審議事項）

1 定例委員会開催に関する報告

臨時第1回キャビネット会議以後に次の委員会を開催した。

第6回委員会 1月25日（金）15時30分～17時30分 於：キャビネット会議室

第7回委員会 1月21日（木）15時30分～17時30分 於：キャビネット会議室

2 審議結果の報告

刊行物の作成に関する事項

メンバーズマニュアルの改定版の頒布を開始した。1部200円。

2月20日現在で約1000部を受注、発送を開始している。

セミナー開催に関する事項

- ・ 次期三役セミナーの開催時期は6月3日（火）の予定。
- ・ 「次世代リーダー育成セミナー」を下記要領で開催する。
上野会場 3月12日 14時～16時。定員70名
立川会場 3月14日 14時～16時。定員70名
新宿会場① 3月18日 13時～15時。定員35名
新宿会場② 15時30分～17時30分。定員35名
登録料一人2,000円
- ・ 「第一副会長セミナー」（奉仕活動勉強会）（仮称）の開催に委員会として全面的に協力をする。

各リジョン、ゾーンにおいては、上記各項目に関して、各クラブ会員への周知徹底をお願いしたい。

以上を報告します。

第3回キャビネット会議 提出案件

委員会名 LCIF・CSFⅡ特別委員会

報告事項

委員長 L. 姉川 啓一

★ 1. CSFⅡ献金状況について

330-A 地区の3年間CSFⅡ献金目標金額は\$2,284,875であります。2008年1月現在の達成金額は\$1,907,985で、達成率83.50%です。2カ月に10%ずつ向上いたしております。予測では3月に90%台、5月に110%が目処になります。今後、達成率10%以下のクラブに鋭意PRしていきたいと思っております。

なお、今期モデルクラブ（会員一人当たり500ドルの献金を誓約したクラブ）は24クラブで3ヵ年累計54クラブになります。（2008年2月22日現在）

★ 2. CSFⅡチャリティー観劇会（明治座公演）収支報告書

収入の部		支出の部	
観劇券売上金	11,857,000円	貸切（座席金額）	8,500,000円
募金金額	300,000円	明治座弁当代	1,330,000円
		その他費用	62,660円
小計	12,157,000円		
入金額	11,948,000円		
未収金	209,000円	小計	9,892,660円
—		剰余金	2,264,340円
合計	12,157,000円	合計	12,157,000円

※ CSFⅡ献金カウント（還元）は1名当たり2,488円

★ 3. 「視覚障害者の視覚障害者による視覚障害者のためのコンサート」

趣旨	第54回年次大会記念アクティビティ
日程	平成20年4月15日（火）午後6時～午後8時20分
開催場所	日比谷公会堂（千代田区日比谷公園）
客席定員	2,074席
会費	5,000円
担当委員会	11委員会

当委員会は、1月24日開催の委員会で、コンサートチケット券、各クラブ10枚割当の推進を図るため、各委員は1月末開催のガバナー諮問委員会に出席してゾーン・チェアパーソンをサポートすることで協力いたしております。

以上

第3回キャビネット会議 委員長報告書

委員会名 PR 情報委員会

委員長名 L 鶴ヶ谷 正司

報 告 事 項

地区ニュース1号発行に付きましては、クラブメンバー各位のご協力を頂き有り難うございました。

メンバー及び外部発信の方々より好評のお声に委員会一同元気を頂きました。各クラブアクティビティの活発な活動をご覧になり、メンバー各位が啓発される事と確信しております。

今期地区ニュースの発行に当たりましては、ガバナー方針に基き広告掲載のご協力無しでの発行であり、委員会メンバー知恵の表現でもあります。

※ 地区ニュース2号、3号発行に付いて

* 地区ニュース表紙の写真を公募

今期の表紙は「世界遺産」を掲載します。

ご自分で撮影をした世界遺産の写真がありましたらご応募下さい。

あなたの写真が地区ニュースの表紙を飾ります。

(応募多数の場合は抽選とさせていただきます)

* クラブアクティビティ、周年行事の取材に伺います。

PR 情報委員会メンバーが取材、撮影に伺いその内容を「地区ニュースに掲載」します。

PR 情報委員会では委員の役割分担を明確にして、ライオンズクラブの活動を外部にPR、発信すべく、積極的に取り組んでおります、今後ともライオンズクラブメンバー各位のご協力をお願い致します。

※ 世界遺産の写真の提出及び、取材のご依頼をお待ちしています。

第3回キャビネット会議報告書

I T委員会 委員長
L 藤村 貞夫

報告事項

1. メール活用の推進

330複合地区として、複合地区役員を対象に1月からメールによる会議通知の運用が始っています。来期よりクラブ役員、地区役員、複合役員の皆様にはメールアドレスは地区および複合地区にとって、必須なものとなってきます。

2. キャビネットホームページの充実

キャビネットからの情報発信をタイムリーに行い、クラブメンバーへの一早い情報伝達を実現するよう努力しています。

「クラブの活動」紹介ページも充実してきました、現在300枚ほどの写真が掲載されています。これを基に、クラブインデックスページが全クラブ分、完成しました。今期に入り、まだ投稿の無いクラブも有りまして、右の写真部分が空白になっているページもあります。アクティビティブック作成の原稿となるクラブインデックスページを完成すべく、更なるクラブアクティビティ写真の収集に努力していきますので、皆様の協力をお願い致します。(後述、写真投稿要領、参照)

3. 月例報告の提出期限変更

サバンナ(地区とライオン誌向け)とWMMR(国際本部向け)というシステムでパソコンを使って月例報告を行っていただいておりますが、WMMRの4月分提出から期限が変わります。当月分を当月末までに入力することになりますので、お気をつけください。月が替わると入力できません。(4月分は、4月1日から4月30日が入力期間です)既に2月15日付けで各クラブ事務局には配信済みです。クラブ役員からの報告が遅れると、事務局としても困る状態になりますので、地区役員の皆様からもクラブへの徹底方、よろしくお願い致します。(国際理事会の決定事項です)また、これに伴いサバンナの入力期間も見直しを考えています。追って、クラブへご案内します。

4. クラブホームページ開設の推進

キャビネット作成のクラブインデックスページ以降のページは、クラブで作成したページへリンクを貼ってあります。また、それ以降のページを未だ作成していないクラブに対して、作成セミナーを2月15日にキャビネット会議室で開催し、約25名参加頂きました。今回参加できなかったクラブの為に今年度中の次回開催を計画します。

5. クラブアクティビティ写真投稿要領

1種類の活動につき写真2～3枚程度(日時、場所、クラブ名、100字前後のコメント添付)(実際の活動している状況で、記念写真的でないもの)写真は1画面1ファイルとしてください。写真プリントはL判程度。デジタルデータの場合は、1024×768ピクセル・1MBを越えない程度のJPEG形式。投稿先 Email : toukou07@lions330-a.org または郵送でキャビネット事務局迄 以上、

第3回 キャビネット会議提出案件

役職名 委員長

社会福祉委員会 木島 庄市

報告) 主要駅多目的・だれでもトイレ及び震災時都内広域避難地図(4カ国語)完成

当委員会では、昨年より作成していた多目的トイレマップが完成し、現在IT委員会との連携で330-Aのホームページに記載する作業を行っています。また、同じような活動をしている東京工業大学留学センター(武井直紀教授)との交流を深め、同センターの活動披露とともに2月8日東京都生活文化スポーツ局主催の語学ボランティア研修会で当アクティビティの発信の機会を得たことを報告します。なお、ホームページよりマップは印刷可能なので各クラブでプリントアウトし、新規アクティビティとして、地域の関係団体に配布いただければありがたいと思います。

報告) 障害者雇用の促進と優遇税制について

ライオンズ会員に対して、障害者雇用の手順と雇用した場合、事業者が得ることのできる優遇税制についての勉強会開催をしました。またその内容をライオン誌へ記載することを1月委員会で審議し、ライオン誌への記載を決め、具体的スケジュール、内容検討を現在おこなっています。

第3回キャビネット会議 委員長報告書

平成20年2月17日

ライオンズカード推進委員会

委員長 L 芦田 公

審議事項

ライオンズカード（個人・法人）のカード会社からの還元金は全額を各クラブに加入者数に応じて分配する事を提案致します。

還元金の処理

- 1、 毎年5月末日の還元金残高を各クラブに加入者数に応じて6月10日までに振込む
- 2、 振込み手数料はクラブ負担とする
- 3、 還元金の記録簿を作成し 実績表を各クラブに表示する
- 4、 各クラブは還元金をカード基金として事業費に算入下さい

還元金の説明(VISAゴールドカードの加入者一人当りの年額)

募集手数料(入会年) 2000円

年会費還元(毎年) 3000円

カード利用額手数料 約4000円 [内10%は国際協会にロイヤルティー]

合計 約9000円 [2年目以降は約7000円]

ニコス・UCカードは利用額手数料の0.4%だけの還元金です。

利用額手数料 約4000円は加入者が年100万円カード利用したと仮定した額です。

カード会社からはこの他に個人にポイントサービスがあります。

既に文書で通知しましたが 三菱UFJニコスカードとの契約は21年2月を以って解除される事となりました。

当委員会は入会推進に努力しておりますが 入会者がライオンズカードを出来るだけ利用される事で各クラブへの還元金が増額されますので 例会費の清算や ゴルフ、旅行買い物など各種の支払いに活用される事を期待いたします。

この還元金の処理提案によりキャビネットには入金が無くなりますが A地区の多数のクラブを支援出来る事はキャビネットの価値観を高める事となります。

第 3 回 キャビネット会議 提出 案件

役職名 エクステンション・リテンション委員会委員長

第11R第2Z いの木 LC L名 小島清隆

案件 1、報告事項

(説明)

別紙参照

エクステンションセミナー開催

案件 2、決議事項

(説明)

エクステンション・リテンション委員会からのメッセージ
別紙参照

330複合地区で初のエクステンションセミナー開催

去る2月1日(金)銀座ブロッサムにて330複合地区主催のエクステンションセミナーが14:00~16:30まで開催され、A,B,C地区より120名余り役員(ガバナー、元ガバナーR,C,P、Z,C,P各委員長、クラブ会長、幹事)が集まり、用意された会場は満席となり主催側の席がなくなるありさま、

- テーマは
- ・EXTの意義と必要性
 - ・EXTの方法と手続
 - ・EXTの経験ライオンが実例を語る

会は安王錫Lの司会で始められ、平田秀春Lの出席者紹介

開会は小林修L、そして委員長 見上良也Lのあいさつと進み、御来賓としてチーム20K・DGメンター山浦晟暉L(元A地区ガバナー)、C地区元ガバナー小峰理孝Lの挨拶があった後セミナーに入った。まずA地区 小島清隆L、B地区 森田明見L、C地区 久保田慎三郎Lの各委員長よりEXTの意義、必要性と実例が語られた後複合副委員長 山口泰男Lより新クラブの結成パターンとして最近の結成例、各新クラブ(A地区)の分析を表にまとめわかりやすく説明があった。

コーヒータイムをはさんでEXTの体験発表がA地区 榎秀郎L(白門)、山口勝一L(中央南) B地区 井桁良雄L(横浜みなと馬車道)、関根洋子L(横浜VP,NET) C地区 星山壽雄L(熊谷シニア)より行われた。各人が実例に基づき、5分間の持ち時間をふるに活用して、個性豊かに語るその内容は笑いもあり、大変楽しく勉強になったと出席者各位より大評判、この手のセミナーにありがちな居眠りする人や途中退席者もなく、最後まで活気ある楽しくも意義深いものとなった。是非このセミナーで各人が勉強され、感じ取ってくれたことをそれぞれの立場で生かし、行動に移してほしいと願うばかりである。

尚、内容については委員会にて小誌を作成予定

330-A地区 エクステンション・リテンション委員会よりのメッセージ

昨年度 90 周年を祝った世界最大の奉仕団体 L,C、日本の L,C も半世紀を過ぎたが近年メンバーの数を大きく減らしています。国際会長はテーマの最前に会員増強エクステンションを掲げている。これは L,C の将来をみすえ、次世代への組織の継承に他ならない。昔、世界最大の奉仕団体 L,C なるものがあつたらしいぞ、などと笑えない怖い話になっては困る。各メンバーの身近なことに置きかえると、家を継ぐ、会社を存続させる為誰に託し、つなげ、発展させてゆくか真剣に考え行動しています。

会員増強はクラブの足腰の強化につながり、エクステンションは新しく子供を生むと云う事、共に新しいメンバーの増加になります。子供を生むには大変なエネルギーと痛みを伴います。EXT を口にする、今の時代無理だよ、と即答される方が多いですが、今だから、こんな時代だからその時代に即した考えでクラブを作ってはどうか、国際協会も近年古い垣根を外したり、ハードルを低くしたりといろいろ手をつくしてきています。

ここで大切な事は、なりふりかまわず子供を生むのではなく、質の問題、心の問題も考え、入会して下さいではなく、入会させてほしいという言葉と共にあるべきと考えます。新しいクラブの EXT は時代（経済、社会、環境）の変化にあつた「次世代型のライオンズクラブ」を積極的に推し進めて行く努力を続けなければならない。それには発想の転換によるアイデアと、地域の情報が必要と考えます。

そして又、地域の情報を集めその変化に対応して、まとめてゆくことも大きな意味があります。それらを実践し、4 年前から今期上半期までにレオクラブも含め 15 クラブが、この 330-A 地区で誕生し元気に育っています。

まずは、ステータスのみを求める L,C から、アクティビティありき、この指とまれ方式が発想の先頭になるクラブ作りが近道と考えます。

ここで、実際に使われた考え方、アイデア等そして、現在考えているものを加え列記してみます。

- ① 労力奉仕を中心とした地域密着型の若年層LC
- ② 同一職種、職能のメンバーで構成されるLC
- ③ I・Tなどの活用によって低額の年会費で運営されるLC
- ④ 老年（財）・壮年（智）・青年（労）の三世代で構成されるLC
- ⑤ 女性限定のLC
- ⑥ 男女5：5の構成比で結成されるLC
- ⑦ シニアLC
- ⑧ スポーツを通じて青少年育成を目的とするLC
- ⑨ 障害者による障害者の為構成されるLC
- ⑩ 趣味を生かしながらの奉仕を目的とするLC
- ⑪ 同窓生が母校に奉仕を柱に構成されるLC
- ⑫ 環境問題を中心に考え社会に奉仕するLC
- ⑬ 地域の行政の隙間を埋める奉仕及び行政と共に進める奉仕LC
- ⑭ その他

それなら、こんなのはどうかと云うアイデアが生まれることを願っています。

新しいクラブの誕生は、出来ないからのスタートから出来るのスタートに立ち、全メンバーが自分のことに置き換え、次世代に繋げていく行動に何らかの形で入っていく事こそ急務と考えます。周年行事の最大のアクティビティは、エクステンションすること。この言葉をもう一度思い出して下さい。華やかに一時代を築き、静かにピリオドを打とうとしているクラブ同士の合併も、意味ある組織の生かし方と思います。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
 エクステンション・リテンション委員会
 委員長 L 小島 清隆

第 3 回 キャビネット会議 提出案件

役職名 330-A 地区 環境保全委員会委員長

第 3R 第1Z 東京新橋LC L. 風間 昭

案件 1, 「引継ぎ事項」

1、環境保全委員会の常設

2、環境保全委員会委員の一部留任

3、「330-A 地区環境問題プログラム」の継続

(説明)

第 51 回、第 53 回 330-A 地区 年次大会に於いて

決議承認されたことに基づき、以上3項目について

次期に「引継ぎ事項」として送りください。

薬物乱用防止委員会活動報告書

3月17日第3回キャビネット会議提出

330-A地区薬物乱用防止委員会

委員長 L, 黒田 幹雄

- ① 1月 9日 私立藤村女子高校へ薬物乱用防止教室の打合せ
委員会出席：黒田委員長、片江L、館L、桐井L
- ② 2月13日 私立藤村女子高校／薬物乱用防止教室実施
3年生110名対象
委員会出席：
黒田委員長、片江L、館L、桐井L、湯浅L
清水L、杉村L以上7名出席
徳田L（江戸川東LC幹事）、
岩津L（環境委員会副委員長）
中島L（環境委員会アドバイザー・赤坂LC会長）
- ③ 2月18日 都立八王子第5中学校（夜学）薬物乱用防止教室実施
時間：19：30～20：45／高齢者と外国籍の40名
会場：音楽室
講師：桐井義則委員
提供資料：下敷き・リーフレット／予算（藤村女子と合算）
出席者：黒田委員長、館L、桐井L、杉村L、高橋L、
国立LCより3名出席
- ④ 2月20日 東京都主催薬物専門講師養成講座
時間：午前10時～正午迄
会場：東京都社会福祉保険医療センター1階講堂
受付：45名出席
講師：館 親光委員（委員会より推薦）
- ⑤ 2月20日 東京都主催薬物専門講師養成講座フォローアップ研修
時間：午後1時15分～2時45分迄
会場：東京都社会福祉保険医療センター1階講堂
受付：53名出席
講師：桐井義則委員（委員会より推薦）
- ⑥ 2月20日 東京都主催薬物専門講師養成講座委員会出席者
黒田委員長、三輪L、片江L、金子俊良L、館L、桐井L、
湯浅L、加藤L、清水L、藤田L、杉村L、加藤L、
以上12名出席
- ⑦ 2月25日 ガバナーズアワード審査会
時間：13：00～17：00
会場：九段会館
委員会出席者：
黒田委員長、金子将人L、三輪L、片江L、中條L、
館L、桐井L、湯浅L、加藤力也L、清水L、藤田L、
杉村L、加藤清L、以上13名出席

薬物乱用防止委員会活動予定

3月17日第3回キャビネット会議提出

330-A地区薬物乱用防止委員会

委員長 L, 黒田 幹雄

- ① 3月 6日 薬物乱用防止委員会開催
11月16日受講者の認定証発送
更新補講講座の準備確認
認定講師レベルアップセミナー準備確認
その他

- ② 4月 3日 薬物乱用防止教育認定講師更新補講講座開催
会 場：台東区役所1001会議室
台東区東上野4-5-6
JR上野駅浅草口徒歩5分
受付時間：12:30~13:00
講 座：13:00~17:00
受 講 料：4,000円(当日受付にて)
対 象 者：2007年12月迄有効期限の認定講師で既に
11月16日に更新受講者を除いた115名

- ③ 4月23日 薬物乱用防止教育認定講師レベルアップセミナー開催
会 場：キャビネット事務局会議室
新宿区西新宿7-10-17
ダイカンプラザB館2階
受付時間：12:30~13:00
講 座：13:00~17:00
受 講 料：無料
対 象 者：認定講師全員
目 的：1人でも多く、1クラブでも多く薬物乱用防止
教室を開催してもらう為に、如何にすれば学校
の門を開いてもらえるレクチャーするセミナー

第3回キャビネット会議提出案件

役職名 献血・エイズ委員会 委員長

第5R第2Z 東京江戸川東LC L石田 健

1. 案件は特に有りません。

2. 報告事項

ガバナー主導のもと委員会がお手伝いする計画が有ります。

第一副会長会議および溝口秀昭氏の講話会の件

開催日	2008年4月4日(金)		
場 所	憲政記念館		
一 部	13:00~15:30	第一副会長会議	委員会担当
二 部	16:00~17:30	講話会	献血・エイズ委員会担当
三 部	18:00~20:00	立食パーティー	懇談・懇親会
会 費	未定		
二部の題名	血液に関する有意義な話を聞いて頂く。題名は未定。		

*330-A地区臨時第1回キャビネット会議「議事録」のなかの開催日に誤りが有ったので、また今日までの経緯を追加致しました。

骨髄バンク関連テレビ放送のご案内

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
クラブ会長様

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
献眼・献腎・骨髄移植推進委員会
委員長 水上 良文

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。
この度、骨髄バンク設立に関するテレビドラマがテレビ東京系列で放映される
事となりました。この機会に各メンバーにご案内いただき骨髄バンクドナー登
録推進活動にご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
敬具

TV東京 ドラマスペシャル
「30万人からの奇跡 ～2度目のハッピーバースデー～」

放送日時 : 2008年3月26日(水) 21:00～23:18
出演者 : 内山理名・永井大・東ちづる・美山加恋・中村梅雀
加賀まりこ・渡辺いっけい・原千晶・竹下景子・内藤剛志他

内容 : 慢性骨髄性白血病で余命数ヶ月と宣告された主人公が骨髄移植
に成功し、助かる可能性はわずか1%という状態から奇跡的に
生還。その後日本初となる骨髄バンクを設立する。
骨髄バンク設立の事実を基にしたドラマとして、時にユーモラ
スに、そして時に熱く、人の「あたたかさ」を描く、希望あふ
れるエンターテインメント作品。

原作 : 大谷貴子 「生きるってシアワセ」(スターツ出版刊)
「白血病は不治の病と言われていましたが、今や元気になれる
んだ!」ということを多くの人に知っていただきたいです。
そして現在、闘病中の多くの病友が励まされる番組になること
を期待しています。・・・原作者談

献眼・献腎・骨髓移植

2007年3月10日(月)

年間予定行事

委員長L 水上良文

1. 2007年10月8日(月)

330A地区

ライオンズ・デー CSFⅡ街頭募金活動 全クラブ単位開催
「骨髓移植推進街頭キャンペーン」応援 募金金額 ¥3,048,750_
11:00 AM 新宿アルタ前で三献委員全員出席キャンペーン
ガバナーL 飯田善彦・委員長L水上良文あいさつ

2. 2007年12月9日(日)

世界障害者・デー CFSⅡ街頭募金活動 各クラブ単位開催
330A地区全クラブ参加 募金金額 ¥3,325,499_

3. 2007年11月9日 アイバンク認定サポーター養成口座の説明

場所・憲政記念会館

日本アイバンク協会から常務理事・池崎道男 様

講師・金井淳先生と厚沢弘陳先生

講習参加者 64名

骨髓移植推進財団から大久保英彦講師・他 骨髓移植献腎ドナー説明

4. 2008年4月4日(金)

[病は血から]のお話しを憲政記念会館にて行います(100名)

講師・溝口秀昭先生

5. 2008年4月19日(土)

330A地区年次大会アクティビティ分科会にて行います(100名)

(テーマ) 骨髓移植献眼献腎について

骨髓移植推進財団 大久保英彦講師・他

第3回キャビネット会議提出案件

役職名 献眼献腎骨髄移植推進委員長

L 水上良文

報告事項

- ① 骨髄バンク推進全国大会のご案内について
- ② 2月9日（土）、骨髄バンク推進全国大会に出席して
- ③ 患者さんからのメッセージ（私の命を救ってくれたあなた）

協議事項

- ① 4月4日（金）病は血からのお話を憲政記念館にて
[講師] 溝口秀昭先生
- ② 4月19日（土）330A地区年次大会アクティビティ分科会にて

(テーマ) 骨髄移植献眼献腎について
[骨髄移植推進財団] 大久保英彦 様 ・ 他

2月9日（土）骨髄バンク推進全国大会に出席して

三献委員長L 水上良文

私達ライオンズの骨髄バンク事業との関係がこんなに発展する事に寄与する事は

骨髄バンク推進全国大会出席して大事な事が分かりました。

ドナー登録者..30万人は1月15日（土）に達することが出来、骨髄移植数については9000例を超え、年間の骨髄移植数1000例に迫ろうとしています。

ドナー登録者は30万人を超えましたが、骨髄移植を希望する患者さん全てが骨髄移植を受けられる訳ではありません。国内の患者さん1692名のうち半数しか移植が出来ないとの事です。一人でも多くの患者さんを助ける為には多くのドナー登録者が必要だと実感しました。患者さんからのメッセージをお伝えします。

【私の命を救ってくれたあなたへ 鈴木真純】の作文を紹介します。

私の命を救ってくれたあなたへ

鈴木 真純

私は今年の四月、晴れて中学一年生になりました。私の自慢できることは、小学校六年間、一日も休まなかったことです。中学校でも、今のところ一日も休まず、元気に過ごしています。今の私があるのは、三歳の時、骨髄移植のドナーになってくれたあなたのおかげです。あなたが、どこに住んでいて、どんな方なのか、骨髄移植するときの決まりで知ることはできませんが、一度会って話してみたいです。

骨髄移植をする前、私の体は、ばい菌にとっても弱い体でした。体の中にばい菌が入ると、すぐに熱を出し、入院でした。お父さんやお母さんだけでなく、家族のみんなが私に気がつかって生活していたそうです。

一番の治療法は、「骨髄移植」と医師に言われ、お父さんとお母さんの白血球の型を調べてもらいましたが、残念ながらどちらも合いませんでした。兄弟の白血球の型が合う確率は、四分の一ぐらいあるので、兄弟ができればと願っていたけれど、それもかいませんでした。

それでドナーの中から私に合う白血球の型を見つけてもらったそうです。あの頃は、何も分からなかったけれど、今では大変だった事が良く分かります。それに、あなたの骨髄は私にとっても合っていたので骨髄移植も軽くすみしました。クリーンルーム（無菌室）で、とても苦い薬をミロというジュースに混ぜて飲まされたのが、すごくいやだったけど、とても元気になりました。医師にも「骨髄移植してから、こんなに元気になった人は見たことない。」と言われたくらいでした。

入院している時、私と同じくらいの歳の友達がたくさんいました。みんな、長い間入院している子ばかりでした。中には亡くなってしまった友達もいます。私はお父さんにもお母さんにも、「真純は運がよかったんだよ。」

とよく言われます。あなたがドナーになっていなければ、今私はここにいなかったかもしれないと考えるとちょっとこわいです。見ず知らずの私のために、痛い思いをして、そして骨髄を提供してくれたあなたに、感謝の気持ちでいっぱいです。

今、私は合唱部に入っています。コンクールでよい成績を取って関東大会やその上の大会に行くのが夢です。

マイペースで、友達とけんかをしたりして落ち込んだりもするけれど、最後まであきらめずにやり通せるようにもなりました。これもあなたにもらった力かもしれません。これから、いろいろな事があると思います。つらい事も、楽しい事も・・・、どんな時でも、助けてもらった命を大切にしながら前に生きていこうと思います。それが命をくれたあなたへのお返しだから。

この作文は日本郵政公社主催の第三十八回手紙作文
コンクール手紙作文部門 関東支社長賞を受賞しました。

第3回キャビネット会議提出案件

大会参加委員会

委員長:齋藤嘉全

1. 第91回ライオンズクラブ国際大会について

日時:2008年6月23日(月曜日)～6月27日(金曜日)

開催国:タイ バンコク

主要会場:本部ホテル(シャングリラ ホテル・バンコク)

総合会場:インパクト エキシビジョン センター

大会日程:

6月24日 09:00～10:30 ゾーンチェアパーソン会議

16:00～ インターナショナル パレード

6月25日 09:00～12:00 開会式

18:00～21:00 330-A地区ガバナー/副地区ガバナー囲む会

6月26日 16:30～17:00 ジャパン レセプション

19:00～21:00 石井ガバナーエレクトを励ます会(ナイト クルーズ) 希望者

6月27日 07:00～10:00 代議員投票(インパクト エキシビジョン・センター)

10:00～13:00 閉会式(インパクト エキシビジョン・センター)

2. インターナショナル パレード用品の件

各、クラブに申込書を送付済

3. 大会登録及び代議員登録の件

①代議員の予備登録手続

国際本部より各クラブに代議員資格証明書が届いていると思いますが、代議員となる会員の氏名及び本人の署名とクラブ会長、幹事の内1名の署名を附したものを国際協会に返送すると同時にキャビネット事務局にも氏名を報告していただきます。

②代議員交代証明書はキャビネット事務局に預けて戴きます。(紛失を防ぐため)

③報告済の代議員とは別の会員が交代して代議員となる場合は、クラブへ交代証明書を渡し、本人が必要事項を記入して、大会に持参する。

④一般会員参加者及び代議員共、大会登録が必要です。すでに登録済の会員は必ず330-A地区キャビネット事務局に報告して下さい。

⑤大会登録は各、旅行会社が代行いたしますが、個人でも登録が可能です。

公式ウェブサイト www.lionsclubs.org

⑥各クラブ共、代議員及び一般会員の多数参加をお願い申し上げます。

4. 旅行会社の案内

①大会参加案内のパンフレットをすでに各クラブへ送付済

②大会参加申込する会員の方々は、旅行会社をクラブ独自で選択依頼又は個人で他の旅行会社に申込みしてもかまいません(自由選択)が大会登録、代議員投票、ガバナー囲む会には、必ず参加をお願い申し上げます。又、各クラブで参加が決定次第、参加者の氏名及びクラブ役職名をキャビネット事務局に報告して下さい。

役職名 国際協調委員会 委員長

第7R第2Z 東京けやきLC L 高麗伸三

案件 1、「ハワリンバヤル 2008」(春の祭り)の開催について

(説明)

モンゴル語で「ハワリンバヤル」とは、「春の祭り」という意味です。

モンゴルからの留学生が主体となり、年1回春の2日間を通じて、日本の皆様にモンゴルの歴史や文化、芸術などを紹介し、日本とモンゴルの交流を更に深める為に開催するイベントです。

会場は練馬区「光が丘公園」で、今年で4回目になり、参加者は年々増えております。

特に、旭鷲山、朝青龍、白鵬といったモンゴル出身の力士がこのイベントを盛り上げようと顔見せしていることも増えている原因のひとつと考えられます。2008年度も2人の横綱をはじめ何人かは参加の予定です。

会場内では 330 複合の国際協調・モンゴル友好委員会がブースを借りて一般の人々に「無料血圧測定」を行います。

メンバー（特に会場に近いクラブのメンバー）の皆様には、気軽にご家族や知人などと一緒にご参加をお願い申し上げます。

・「ハワリンバヤル 2008」の実施要綱は、以下の通りです。

開催予定日	2008年5月4日(日) 12時～17時 5月5日(月) 10時～16時
会場	東京都練馬区「光が丘公園（けやき広場）」 (地下鉄大江戸線「光が丘」(E38)下車 徒歩8分) (東武東上線「成増」(南口)から西武バス日大光が丘病院・練馬高野台駅・南田中車庫行き「光が丘公園北口」下車) 尚、有料駐車場(234台)は混雑が予想されます
入場料	無料
主催	在日モンゴル留学生会、ハワリンバヤル 2008 実行委員会
後援	(申請中) 外務省、駐日モンゴル国大使館、東京都練馬区
協賛	ライオンズクラブ 330 複合国際協調・モンゴル友好委員会、板橋モンゴル孤児支援の会 他多数

以上

第3回キャビネット会議委員長報告

委員会名 クエスト青少年育成レオ委員会

委員長名 L橋 薫

報告事項 1

(説明)

ライオンズクエスト・プログラムは LCIF の最重要、国際プログラムです。
更に、四大交付金優先事業の1つに指定されております。

当委員会は今期クエストPR・啓蒙元年と位置づけ、力強く継続的普及活動を可能にすべく、ライオンズクエスト・セミナーを恒常的に力強く躍進し開催しております。

【ライオンズクエスト・セミナー】

会場：キャビネット事務局会議室 参加者対象者：メンバー、その他

第1回 8月17日開催

第2回 11月8日開催

第3回 12月6日開催

第4回 2月4日開催

第5回 3月3日開催 憲政記念会館 参加対象者：メンバー、一般公開

第6回 4月7日開催予定

第7回 5月12日開催予定

【ライオンズ・ワークショップ・セミナー】

会場：虎ノ門 日本財団2F大会議室 参加対象者：メンバー、教育関係者、その他

第1回 10月27日～10月28日 開催

第2回 1月19日～1月20日開催

第3回 4月26日～4月27日開催予定

以上、ご協力、ご支援、ご指導の程宜しく御願い申し上げます。

第3回キャビネット会議委員長報告書

委員会 女性参加・家族会員増強委員会

委員長 L. 三ヶ嶋 将介

報告事項

①	8月24日	三ヶ嶋委員長より 飯田ガバナーの基本方針を説明。セミナー開催を決定。 ・日時、場所 10月29日 ホテルラングウッド 日暮里 ・目的 女性会員の増強と質の向上 ・タイトル 女性会員とガバナーを囲む会 ・出席 12名
②	9月3日	飯田ガバナー挨拶及び委員会設立主旨の説明 「女性会員とガバナーを囲む会」の進め方 ・各テーブル毎に議題を集約し ガバナーとの話合の議案とする ・出席 14名
③	9月27日	「女性会員とガバナーを囲む会」 ・女性会員への参加要請を再度行う ・会議は バズ・セッション方式で行う ・出席 12名
④	10月3日	「女性会員とガバナーを囲む会」の進行（運営） ・挨拶は 飯田ガバナー、石井副地区ガバナー、三ヶ嶋委員長の3名とし全体時間2時間の内15分とする ・C地区女性ガバナーに委員長ご案内を送付 ・テーマ 女性会員の増強（ガバナーのテーマ） 新しい視点から見たアクティビティ（委員会テーマ） ・委員会の役割分担決定 ・プログラム、ネームプレート等の制作 ・出席 8名
⑤	10月29日	「女性会員とガバナーを囲む会」 次第 司会・進行 逸見正樹副委員長 ①三ヶ嶋委員長挨拶 ②来賓紹介 山田順子副委員長 ③飯田善彦地区ガバナー挨拶 ④山浦晟暉CSFⅡナショナル・コーディネーター挨拶 ⑤石井征二副地区ガバナー挨拶 ⑥曾根原良仁会員増強委員会委員長挨拶 ⑦バズ・セッション説明 逸見正樹副委員長 ⑧バズ・セッション開始 ⑨各テーブルごとの意見発表 ⑩ガバナー応答ならびに総評 ⑪閉会の辞 伊藤侑希子副委員長 6テーブルに分かれてのバズ・セッションで、女性会員の増強策・女性の視点での奉仕活動について有意義な意見集約を得ることが出来た。 (会費、例会、アクティビティ、品格向上等々) ガバナー総評 会費の問題が多かったが、見直し・低減化を図る。女性会員の入会は、男性会員スポンサーによる場合が多いので、今後は対策を考えたい。 ・出席 16名 オブザーバー 4名（上記③、④、⑤、⑥）

⑥	11月20日	「女性会員とガバナーを囲む会」 <ul style="list-style-type: none"> ・バズ・セッション方式でガバナーに対する要望や質問事項を集約し ガバナーと直接対話できたことは、今後の女性会員増強に大いに役立つとの評価を出席者全員から頂いた。 ・当日無断欠席の15名の会費（15名×2,000円）30,000円を所属クラブ会長宛に請求することを決定。 ・330-C地区元ガバナー、現複合地区レオライネス女性参加委員長 櫻井慧子Lの欠席は残念であった。 ・今回のセミナーの結果をライオン誌に掲載する ・出席 10名
⑦	12月17日	・ライオン誌に掲載する「女性会員とガバナーを囲む会」の概要・写真について検討 <ul style="list-style-type: none"> ・9月14日 複合地区レオ・ライオネス・女性参加委員会（櫻井慧子委員長）より330複合地区の女性会員増強フォーラム開催の要請あり ・A地区三ヶ嶋委員長から B、C両地区に対し三地区の正、副委員長会議開催を提案 ・出席 9名
⑧	1月25日	330複合地区女性会員増強フォーラム <ul style="list-style-type: none"> ・4月23日（水） 憲政記念館 パネラー A地区 3～4名 B地区 2名 C地区 1名 委員長代行 伊藤侑希子 ・出席 9名
⑨	1月29日	330複合地区女性会員増強フォーラム <ul style="list-style-type: none"> ・4月23日（水） 憲政記念館 PM13：30～16：30 パネラー A地区 4名、B・C地区 各1名 テーマ 1. アクティビティに対する感動の共有 2. 会員増強に対して 3. 女性ならではの奉仕活動 等 ・出席 8名
⑩	2月8日	330複合地区女性会員増強フォーラム <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 200～300名 ・会費 2,000円（一人） ・予算 350,000円 ・出席 11名
⑪	2月15日	330複合地区女性会員増強フォーラム <ul style="list-style-type: none"> ・運営要領 1. A地区の主体性を出す 2. 参加者 300名目標 3. パネラー 各地区 2名 4. A・B・Cガバナー議長 古郡保郎L 5. テーマ 女性メンバー家族会員の増強 感動の共有 女性の視点から見たアクティビティ 6. 総合司会 赤尾副委員長 ・出席 委員 10名 オブザーバー 4名 飯田ガバナー 赤尾A地区副委員長 森田C地区副委員長 櫻井慧子委員長

第3回キャビネット会議提出案件

平成20年2月19日

中間法人連携委員会
委員長 池田和司

決議事項

キャビネットの一般会計（2006～2007年度）の貸借対照表・財産目録の欄に「出資金3,000,000円」との記載が2ヶ所ある。これは誤記であるから2007～2008年度（今年度）以降からは、正しく「貸付金3,000,000円」と表記することを、今年年次大会においてガバナー提案として提案して頂きたい。

理由

- (1)、本案件は、平成20年1月22日開催の第1回臨時キャビネット会議において、継続審議となったものである。
当委員会の提案理由は、当会議に提出した理由の部分をご参照願いたい。
- (2)、その後、中間法人連携委員会より、ガバナー・幹事・会計の三役に対して、中間法人330-A地区支援会に関する必要書類を提示した上で、何故に出資金300万円が誤りで、「貸付金300万円」と表記することが正しいのか、さらにその必要性について説明を行った。
その席で、本案件は、年次大会において決議すべき性質のものであること又貸付金とした後にその300万円が速やかにキャビネットに返還される必要性があることさらにその300万円を返還した支援会の社員3名が1人21口の社員総会における決議権を実質的に保有してしまうことに対する不平等性と濫用防止などを検討すべきではないかとの意見が出された。
- (3)、これらの指摘は、正鵠を射た意見であることに全員同意され、中間法人連携委員会においても今後の検討課題としつつ、速やかに上記の問題点に対する改善を行うよう330-A地区支援会に対して意見を伝えることで協議が成立した。
- (4)、本案件は、取り合えず、懸念される問題点が解消されたものと思料し、表記の決議事項として提出するものであります。

第 3 回 キャビネット 会 議 提 出 案 件

委員会名 ; 事後処理特別委員会

委員長 ; L 脇 村 孝 友

案件 1、報告事項

(説明)

2月14日で9回目の委員会を開催致しました。10回目は3月7日に開催を致します。

2月28日に開催の8回目の委員会後、委員会報告をまとめて委員全員の名前を明記し、2月4日付けで飯田地区ガバナー宛にお送り致しました。

飯田地区ガバナー宛にお送り致しました委員会報告書は、下記の3件のです。が、報告内容は、飯田地区ガバナー宛の報告書より少し省略しています。

1) 00～01期 中国寧夏学校建設支援についての調査報告書 資料—1

2) 03～04期 アフガニスタン教育支援についての調査報告書 資料—2

尚、01～02期は、キャビネット事務局に置いてある書類により、調査・確認を致しました結果、置いてある書類は適性に処理されていると思われま

今後、02～03期と04～05期を調査・確認を致します。

案件 2、決議事項

(説明)

奉仕活動が次年度以降にまたがるものについては、次年度前の年次大会の決議が必要と考える。

したがって、上記の奉仕活動に関しては、年次大会の決議の後、次期に事後管理委員会(仮称)を設営し、キャビネットがその資金の管理を行うことを提案する。

00～01期 中国寧夏学校建設支援についての調査報告書

事後処理特別委員会

当時の資料によりますと、中国寧夏学校建設支援金は、112クラブの拠出した支援金の合計が、26,283,907円位あったようです。

当時の資料によりますと、西吉県女子中学校4階建て（750万円）、固原県老庄小学校3階建て（400万円）、海原県関橋小学校3階建て（400万円）の3校の学校建設支援に供与されたと推測できる金額の総額は1,550万円です。

支援後2001年6月頃の時点での残金は、おそらく10,783,907円位と思われる。

当時の資料によりますと、キャビネット会議上で、ガバナー一任との決議がありますが、その後の流れは未だ掴めません。

JCCニュース「為了明天」(ウエイラシテイェン) No.2 2001年2月17日発行。

JCC活動日誌の記事内容より抜粋

- ①10月20～23日 330-A地区LC、寧夏西吉県女子中学校校舎支援のため、現地視察。
- ②11月 2日 寧夏西吉県女子中学建設基金250万円送金。
- ③11月 12日 京友会の歓迎夕食会開催（浅草中島むぎとろ本店）

「日本の友人のみなさまへ」による京友会の設立経緯

プロジェクトの進行状況-IV 寧夏教育支援。の記事内容より抜粋。

○小中学校建設支援等

前文3行と4行3文字を省略。ところが、LCは単年度事業を基本としますので、年度後のフォローが出来ません。この枠を超えて教育支援を継続しようと結成されたのが京友会です。今年度は、再度330-A地区LC（小坂哲瑯ガバナー）が寧夏教育支援に取り組み、女子中学1校と小学校2校を建設いたします。京友会は、全面的にこの事業期間が終わった後またそれをフォローして支援を続けるつもりです。継続の大切さを考え、支援を点から面に発展させるために努力していくつもりです。 京友会会長 中島洋吉

2008年1月28日現在の調査状況。

京友会（会長は中島洋吉L）は、一年に1度か？2度位？会合が開かれているようですが、その後の活動についてはキャビネットへの報告が無いようです？

330-A地区各クラブからの支援金の残金が、京友会に移管されたのはほぼ間違いないようです。

以上

03～04期 アフガニスタン教育支援についての調査報告書

事後処理特別委員会

アフガニスタン教育支援特別会計の報告書によれば、2004年6月30日、当時の特別会計残金は、次の通りです。

日本円＝1,482,680円。

米ドル＝57,297.55\$。

その後、アフガニスタン教育支援助収支報告の報告書によれば、アクティビティされた金額は次の通りです。

①	2004年07月に教育大付属中電気設備	11,250.00\$
②	9月、セパダ小学校 電気・暖房設備	21,471.00\$
③	11月、セパダ小学校 教材支援・教師給与補填（一年目）	3,450.00\$
④	2005年12月、セパダ小学校 教材支援・教師給与補填（一年目）	3,200.00\$
⑤	12月、セパダ小学校 送金手数料	8,000円

2005年12月31日の支援金の残金は、次の通りです。

日本円＝1,474,680円。

米ドル＝17,926.55\$。

2006年以降、アフガニスタン教育支援助収支報告は、担当キャビネット副幹事、担当キャビネット副会計の方々にも協力を頂き、資料を探して見ましたが見つかっておりません。

2006年1月以降、アフガニスタン教育支援にアクティビティされていないのならば、現在、中島洋吉元地区ガバナー名で、日本円＝1,474,680円。米ドル＝17,926.55\$。の金額がどこかにあると推測されます。

以上

「330-A地区 協賛金・義援金等に関する内規」(案)

本規約は、キャビネットの運営をスムーズに行うために作られた規約である。

(協賛金の使用)

第1条 特定の委員会名で得た協賛金は、他の目的、他の委員会に使用してはならない。

(協賛金の使用禁止)

第2条 協賛金は、その委員会の奉仕活動に使用するものであって、委員会等会合の飲食には使用出来ない。

- ①. 会議費(飲食を伴う)等も参加者から会費を徴収し、その会費を会議費等に充当する。
- ②. セレモニー費用等の飲食を伴うものは、その飲食費に相当する会費を参加者から徴収する。

(協賛金の剰余金)

第3条 委員会の奉仕活動後、協賛金に剰余金が生じた場合のその処理は、地区年次大会の決議を得て、期末に処理をする。

(複数年間の事業)

第4条 奉仕活動が次年度以降にわたることとなった場合は、地区年次大会で決議を得ること。必要な期間特別委員会を設置し、当時の関係者(幹事・会計・委員長等)が、顧問に就任する。

(協賛金の管理)

第5条 各委員会の協賛金は、キャビネット会計が管理をする。

- ①. 委員会の担当者は、詳細で明確な請求書を作り、キャビネット会計に請求をする。その際、全て領収書を添付すること。
- ②. 書類及び金銭の引渡しは、「引渡し書」・「引受け書」を担当者とキャビネット会計の双方で交わし、一部ずつ7年間保管し、もう一部はキャビネット事務局で保管をする。

(引渡し方法)

第6条 期末・期首時の書類及び金銭等々の引渡しは、「引渡し書」・「引受け書」を新旧の担当者(キャビネット幹事・会計)双方で交わし、一部ずつを7年間保管し、もう一部はキャビネット事務局で保管をする。

(引渡し期日)

第7条 後期への書類及び金銭の引渡しは、可及的速やかに行う。

- ①. YE委員会の書類及び金銭の引渡しは、可及的速やかに行う。

(説明の義務)

第8条 当時の会計に関与する者(幹事・会計・委員長等)は、退任後もそれに係わる件について後に説明を求められた場合は、速やかに説明を行なう。

本規約は2008年7月1日より施行し、以後変更を妨げない。地区年次大会の決議を得て、変更が出来る。

第3回キャビネット会議提出案件

役職名 緊急対策委員会

第13R 第1Z 東京小金井LC L名 梶原 正和

案件 1 「報告事項」 第6回上級救命技能講習会開催の件。

(説明)

3月25日(火)午前9時より午後5時まで麴町消防署地下1階におかれまして新規者55名更新者24名合計79名にて開催致します。

案件 2 「報告事項」 緊急災害時などの対応マニュアル作成の件

(説明)

「いつ起きるかわからない東京直下型大地震」神戸大震災。中越沖大震災。その他の体験者のお話や多くの資料を元に大きく(5つの項目に分けて今制作中で御座います。)

1 330-A地区において災害が発生した場合。

2 様々な場面における具体的な対応行動の指針の例。

3 330-A地区の緊急援助の実施について。

4 緊急地震速報利用の心得(概要)

5 非常時持ち出し品と非常備蓄品の準備